



●防人(さきもり)見返りの峠【多摩丘陵パノラマの丘】

よこやまの道の尾根上にあります。

防人としてこれから九州沿岸の警護のため、家族や大切な人と別れて旅立つ悲しみに、思わず振り返って涙したのでしょうか。

防人は主に東国の人々が3年交代の任務であり、その道のりは非常に過酷なものでした。

防人とは、崎(岬)や島を守ると言う意味の崎守(さきもり)が由来とされています。

●一本杉公園と万葉集・防人の歌碑

古民家、旧加藤家住宅、旧有山家住宅、池、炭焼き小屋、などがあり

東園には野球場、テニスコート、じゃぶじゃぶ池等があります。

1981年(昭和57年)に多摩市立公園として開園しました。

【万葉集の防人歌】 武蔵国豊島郡 宇遲部黒女(うちべのくろめ)

赤駒を山野に放し 捕りかにて 多摩の横山 徒歩やか遣らむ

(あかごまをやまのにはがし とりかにて たまのおくやま かしゆかやらむ)

訳・栗毛の馬が山野を駆け回るのを捕らえられず多摩の横山を徒歩で行かせるのだろうか愛しい夫を…

防人として遠く筑紫国へ出征する、夫の苦労を思いやる妻の心情を表した歌と言われています。

●関屋の切り通し

調布の布田宿と小野路を繋ぐ布田道の切り通し。

かつては鎌倉街道の関所があった所とされています。

また、関屋城砦もあったと言われ、空堀跡や鎌倉古道の跡も残されています。

幕末には、新選組の近藤勇や沖田総司らが小野路の小島道場に通っていたともいわれています。

赤土むきだしのダイナミックな道です。

(関屋の切通しの説明板)

●小野路宿里山交流会館

小野路宿にはかつて6軒の旅籠がありました。

そのうちの1軒『旧角屋』をリニューアルして2013年にオープンしました。

休憩所として小野路の中心的な場所になります。

「関屋の切通しは」幕末に新選組の近藤勇や沖田総司らが小野路へと通った道なんだった(布田道)

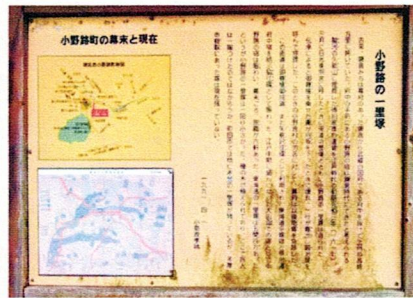


ワンポイントガイド



【短いコース】

●小野路一里塚と御尊櫃御成道(ごそんひつおなりみち)



御尊櫃御成道 とは、駿河国久能山から日光東照宮へ改葬する際に遷御の行列が通行した道である。この改葬にあたり、幕府は木曽村、小野路村、付近の村々に触書を出して道路整備を命じた。小野路村でも村人は緊張の面持ちで行列を待っていた。ところが、小野路宿直前の向坂(むかいざか)を下る時に、柁を乗せた車の軸が折れた。乞田村(こったむら・現在の多摩市)から鍛冶屋を呼び車軸を修理し、行列を見送り、村人たちは大いに安堵したようだ。

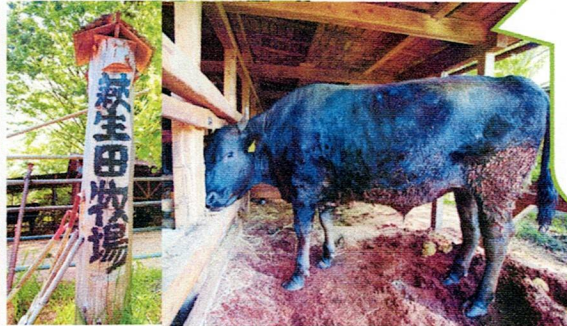
●町田市立野津田公園(バラ園・村野家生家・町田GIONスタジアム:ゼルビアZelvia)



2001年(平成13年)に第2期区域が開園し、現在に近い形となる。広さは約42haで、町田市立の公園としては最大規模を誇る。園内には町田GIONスタジアム、野津田球場、上の原グラウンド、野津田公園テニスコートなどのスポーツ施設がある。春には桜の名所としても知られ、花見の季節には多くの市民で賑わいます。

【長いコース】

●奈良ばい谷戸と萩生田牧場



町田市で唯一の肉牛農家さんです。大変貴重な『東京ビーフ』の生産者です。
萩生田牧場
(はぎゅうだぼくじょう)

NPO法人まちだ結の里や市民の方たちの努力で、耕作放棄されていた農地を蘇らせました。谷戸には山からの絞り水が湧水となり潤っています。伝統的な環境が残された谷戸田です。『関東・水とネットワーク拠点百選』に2015年10月、選定されました。奈良ばいの意味は小野路城から小山田城に行く時に「ならべー」と言ったのが由来と言う言い伝えがあります。

●都立小山田緑地

開園は平成2年(1990)、開園面積は約45万㎡(東京ドーム約9.5個分)です。本園、梅木窪、大久保、山中の4つに分かれています。雑木林や草地の丘、畑や谷戸の田んぼ、池など豊かな自然に溢れています。

